

平成 28 年 6 月 15 日

鹿児島大学病院 消化器乳腺甲状腺外科で

手術をお受けになった患者さんへ

( 臨床研究に関する情報 )

鹿児島大学病院消化器乳腺甲状腺外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、過去に消化器乳腺甲状腺外科学で手術をお受けになった患者さんで、診断や治療のために採取された組織の検体の余剰分を学術研究に使用することについて同意をいただいている方々の検体を分析することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

手術による切除標本の一部を用いたマイクロ RNA に関する多施設  
共同研究

【研究機関】

鹿児島大学病院 消化器外科

【研究責任者】

鹿児島大学病院 消化器外科  
教授 夏越 祥次

【研究の目的】

近年、タンパク質をコードしないマイクロ RNA と癌の発生・  
進行との関連が報告されていますが、数千種類あるマイクロ

RNA の解析は未だ発展の途中です。この研究の目的は、消化器癌および乳癌・甲状腺癌組織から RNA を抽出し、癌で特異的に発現するマイクロ RNA を解析するものです。この詳細は解析により、消化器癌および乳癌・甲状腺癌の発生、増殖、転移のメカニズムが少しでも解明され、消化器癌および乳癌・甲状腺癌の早期発見、悪性度の評価、予後の予測ができることが期待できます。

## 【研究の方法】

通常診療において過去に採取され凍結組織の形で保存された病理検体の癌部とその周辺の非癌部から RNA を抽出し、次世代には受け継がれないマイクロ RNA 発現の変異を比較する研究を行います。解析の手法としては次世代シーケンスを用います。これらの検索結果をマイクロ RNA と病気の相関性や悪性度評価、予後等の臨床病理学的因子と比較検討を行います。また、細胞株を用い各マイクロ RNA の機能解析を行う予定です。結果を千葉大学とともに評価します。

### ●対象になる患者さん

平成 9 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日までに鹿児島大学病院消化器・乳腺甲状腺外科で手術をお受けになり、癌組織の摘出をされた患者さんを対象にしています。

### ●診療録（カルテ）から利用する情報

臨床病理学的因子：年齢、性別や病期、リンパ節転移・遠隔転移の有無

## 【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを

特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院消化器・乳腺甲状腺外科の用途特定寄付金で実施します。企業等からのこの研究のための寄付は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 消化器センター

教授 夏越 祥次

電話 099-275-5361      FAX 099-265-7426